

収	受
令和	-3.8.-2
環境第	471-40 号
環境第	
吹田市	

様式第二号の九（第八条の四の六関係） （第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和3年8月2日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府吹田市芳野町18番23号
 氏名 昭和化工株式会社
 代表取締役社長 小椋 浩之介
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 06-6384-1501

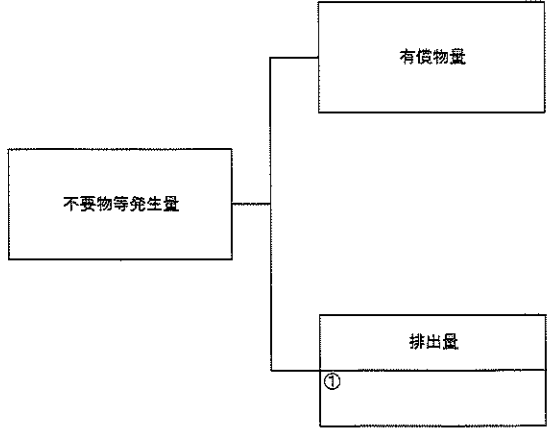
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	昭和化工株式会社 本社工場		
事業場の所在地	大阪府吹田市芳野町18番23号		
事業の種類	16：化学工業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	∪ 4031.340 t	全処理委託量	∪ 761.340 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	∪ 761.340 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	∪ 3270.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

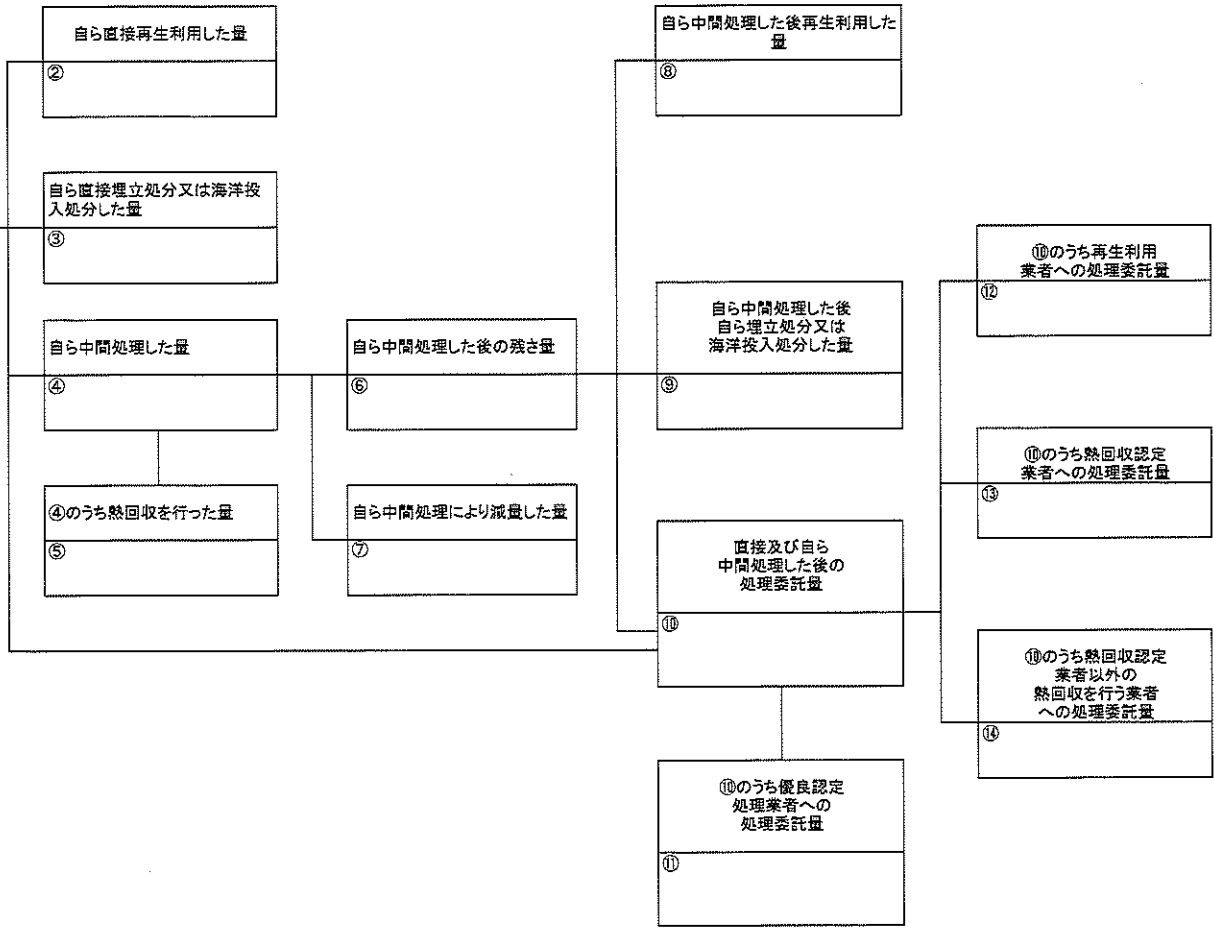
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(2020 年度実績)

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況													②+⑧ 自ら再生利 用を行った 量	③+⑨ 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行った量	
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤④のうち 熱回収を 行った量 (自ら熱回 収を行った 量)	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量 (全処理委 託量)	⑪⑩のうち 優良認定 処理業者へ の処理委託 量(優良認 定処理業者 への処理委 託量)	⑫⑩のうち 再生利用 業者への処 理委託量 (再生利用 業者への処 理委託量)	⑬⑩のうち 熱回収認 定業者への 処理委託量 (熱回収認 定業者への 処理委託量)			⑭⑩のうち 熱回収認 定業者以外 の熱回収を 行う業者へ の処理委託 量(熱回収 認定業者以 外の熱回収 を行う業者 への処理委 託量)
コード	名称																
200	汚泥2B	4.820						0.000		4.820	4.820					0.000	0.000
200	汚泥A-1	62.540						0.000		62.540	62.540					0.000	0.000
200	汚泥B-1	5,860.000			5,860.000		607.860	5,252.140		607.860	607.860					0.000	0.000
200	汚泥B-4	66.690						0.000		66.690	66.690					0.000	0.000
200	汚泥D	34.100						0.000		34.100	34.100					0.000	0.000
200	汚泥I	9.780						0.000		9.780	9.780					0.000	0.000
200	汚泥J	4.390						0.000		4.390	4.390					0.000	0.000
200	汚泥S-3	7.980						0.000		7.980	7.980					0.000	0.000
300	廃油M	0.000						0.000		0.000	0.000					0.000	0.000
300	廃油L	0.180						0.000		0.180	0.180					0.000	0.000
400	廃酸C-1	16.250						0.000		16.250	16.250					0.000	0.000
400	廃酸K	8.000						0.000		8.000	8.000					0.000	0.000
600	廃プラA-3	8.950						0.000		8.950	8.950					0.000	0.000
600	廃プラA-4	0.000						0.000		0.000	0.000					0.000	0.000
600	廃プラA-5	17.850						0.000		17.850	0.000					0.000	0.000
600	廃プラA-6	0.990						0.000		0.990	0.990					0.000	0.000
600	廃プラA-7	24.570						0.000		24.570	24.570					0.000	0.000
600	廃プラA-8	17.960						0.000		17.960	17.960					0.000	0.000
700	紙くず	0.000						0.000		0.000	0.000					0.000	0.000
800	木くず	48.120						0.000		48.120	48.120					0.000	0.000
1300	ガラスくず	32.000						0.000		32.000	0.000					0.000	0.000
2510	電池類	0.000						0.000		0.000	0.000					0.000	0.000
2522	蛍光灯類	0.067						0.000		0.067	0.067					0.000	0.000
合計		6,225.237	0.000	0.000	5,860.000	0.000	607.860	5,252.140	0.000	0.000	973.097	923.247	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。

※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①～⑭)に示す量を表に入力。